

# いさやま大介

## プロフィール

## 市政を身近に

教員の両親から生まれる。  
神戸大学発達科学部を卒業。  
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)  
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。  
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、2019年神戸市会選挙連続当選、現在2期目。  
都市防災委員会所属。(2019年7月現在)  
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。  
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



共創・国民民主神戸市会議員団  
〒650-8570  
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階  
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

# Vol.16

## 任期ずれが解消！2期目がスタートしました！

阪神・淡路大震災後、選挙期日から議員任期開始までの間、約2か月の「ずれ」が生じていましたが、「議員任期特例法」が制定され、今回の任期満了日を、震災前と同じ日に戻すこととなりました。現在の議員の任期のみ、通常の4年ではなく約3年10カ月となります。

私、いさやま大介は政党に所属していません。

いわゆる無所属という立場ですが、議会内グループ(会派)を形成し活動しています。

神戸市が抱える様々な問題を、新しい発想を取り入れて、未来志向の政策を提案し続けていきます。



左：いさやま大介(無所属・灘区)  
右：前島浩一(国民民主・西区)

### 議会質疑報告

2月の代表質疑で取り上げました「8050問題」、いわゆる「大人のひきこもり問題」※に関連した質疑が、6月議会本会議でされました。(以下、市長答弁)

現在「ひきこもり地域支援センター」を開設しているが、対象となる人数に対して相談員の人数が少ないなど十分な対応ができていない。したがって、保健福祉局中心にさらに庁内で議論し、各部署で情報連携をはかること。また、潜在的なひきこもりの人にも対応すべく専門家による有識者会議を早期に設置することを目指す。

※内閣府は、「ひきこもり」の40～64歳が、全国で推計61万3千人いるとの調査結果を発表した。  
15～39歳の推計54万1千人を上回り、ひきこもりの高齢化、長期化が鮮明になった。





## 議会風景



▶ 令和元年7月 一般質問



▶ 同左



## 一般質問（いさやまの質問項目）

### ○ふるさと納税について

ふるさと納税制度は地方の活性化につなげる目的で故郷を含めた自治体に寄附できるという制度である。昨今、高額な返礼品を目玉に寄附を集める自治体が相次ぎ、本来の趣旨から逸脱した問題点も指摘されてきた。このたびの地方税法等の改正により、全国のふるさと納税制度が大きく変わった。

1. 返礼品調達費用を寄附金額の3割以下とする。
2. 返礼品は当該自治体地場産品に限る。
3. 自団体の住民（神戸市民）への返礼品などの提供を禁止する。

この点を踏まえて、神戸市としてどのように対応していくのかを質疑。



▶ 返礼品で人気の神戸牛

これから健全な運用を行ってきた団体同士の競争になることと、神戸ビーフ、スイーツ、灘の酒など神戸市には地場産品が豊富であることから、プラスの改正ではないか。

しかし、平成30年度の実績では、神戸市が受け入れた寄附の額は4億2,400万円程度に対し、流出額は44億7,100万円にのぼる。市民や社会のために貢献をしているということを共感できる魅力あるメニューをつくり、全庁一丸となって取り組んでいきたい、という力強い市長答弁を頂く。

モノからコトへ。体験型の返礼品の充実を提案した。

### ○「食の多様性」への配慮について

「食の多様性」とは、世界の食文化や食習慣、宗教等による特徴的な食品や料理が多様に存在することを指すがベジタリアンなど健康上の志向に基づくものや、アレルギーなど医療的な制限も含めて捉える場合もある。神戸市の学校給食では、昨年からは食材の絵文字（フードピクト）を用いたアレルギー対応を行っている。ラグビーワールドカップ2019の開催を迎える神戸市において、確実に増加が見込まれる神戸を訪問する外国人旅行者に対して、このような手法を用いるなど「食の多様性」に配慮した対応をすべきと質疑。

このフードピクトは先日開催された「G20 大阪サミット」においても採用され、会場内レストランで提供される全てのメニューにフードピクト付メニューカードの表示がなされていた。

神戸観光局のプラットフォームを生かし、

フードピクトの活用について取り組んでいきたい、とのこと。



▶ G20 大阪サミットの会場内レストラン

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp

討議資料



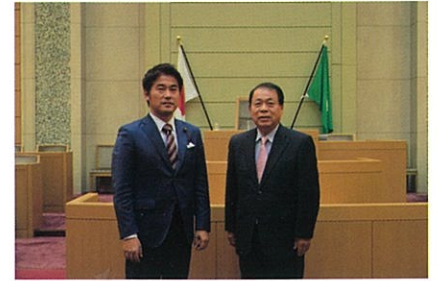


## ごあいさつ

令和になって初めての決算市会が9/18～10/29の42日間の会期で開会され、平成30年度決算と関連議案合計25件については賛成多数で認定、承認されました。

わが会派では、別掲の通り代表質疑は前島浩一議員（西区）が、総括質疑は諫山大介議員（灘区）がそれぞれ担当しました。また、併せて決算の局別審査では第一分科会（市長室、行財政局、企画調整局、市民参画推進局、教育委員会、こども家庭局、各行政委員会）は諫山大介議員が、

第三分科会（港湾局、経済観光局、危機管理室、消防局、建築住宅局、都市局）は前島浩一議員が担当して質疑にあたりました。以下要点を中心にご報告します。



左：いさやま大介（無所属・灘区）  
右：前島浩一（国民民主・西区）

## 決算議会にて代表質疑 前島 浩一（西区選出）

令和元年9月26日（木）、会派を代表して平成30年度神戸市各会計決算及び関連議案に対して、市長並びに副市長に質疑を行いました。

質疑の内容について、その一部を一問一答形式でご報告します。



### Q1. 人口減少対策として打ち出したリノベーション神戸の第1弾”暮らしの安全”

の観点から、・街灯の5割増、全灯LED化 ・防犯カメラの直営による2000台の増設 について、

①人口減少対策の意味からも内外にしっかり発信すべき

②特に、防犯カメラについては、地域団体が補助設置した2500台を将来的に順次直営化、一元管理すべきでは。



A1. ①情報発信については、まだまだ発信力が弱いと認識しており、これまでもPR会社の専門的な知見を求めたり、この6月からはPRプランナーを任用しており、特に東京や大阪など人口流出先へのプロモーションというものをいろんな工夫を講じながら強化していきたい。

②これまで地域団体のニーズで設置を進めてきた防犯カメラについては、原則として地域の高い防犯意識のもとで、引き続き地域団体に維持管理をお願いしたい。但し、直営で設置するエリア内にあるもので、地域団体からの要望があるものはその有効性等を勘案して直営化を検討したい。

（要望）

直営事業と補助事業が混在するのは如何なものかと思われるので、順次直営化の方向で切り替えることを検討されたい。

Q2. 兵庫県バス協会からの緊急要望を受けて、敬老パス・福祉パス制度の維持、存続に向けては、どこを見直し、どこを強化すべきと考えているのか。（年間50億円の一般財源からの拠出により、兵庫県バス協会への補償率が敬老・福祉併せて73%となっていることに対して）

A2. 有識者会議での議論を踏まえつつ、制度の方向性と一般財源の拠出のあり方等について十分検討した上で、早急に結論を出していきたい。





## 決算特別委員会（前島浩一担当分）

決算特別委員会を設置し、3つの分科会にわけて局別審査を行いました。前島浩一議員が担当した第3分科会の局別審査から、その主だった質疑についてQ&A方式でご報告します。



### ○港湾局（9月30日）

Q. 神戸空港は、今年5月に開催された関西3空港懇談会において、最大発着回数を一日60回から80回に運用拡大がはかられ、現在比較的順調に発着回数が増えておりますが、残りの約10回については、以前撤退したJAL等の復活を求めていますか。

A. 10月より新たに就航する予定のフジドリームエアラインズ(FDA)は、JALと共同運行しているエアラインですので、航空券などもJALのホームページで購入が可能となっております。JAL本体が就航するかどうかはその需要等を総合的に判断して決められると思います。

### ○経済観光局（10月1日）

Q. ため池の管理については、県と連携して「兵庫ため池保全サポートセンター」を設置して管理状況のパトロールや補修の指導、助言等を行ってきたと承知しているが、その中で特に受益面積0.5ヘクタール以下のいわゆる小規模ため池の改修や廃止を積極的に進め、地域防災の向上に努めるべきと考えるがいかがか。

A. 小規模ため池の改修補助については、これまでの採択要件を見直して、下流の人家等への影響が懸念されるため池については、受益農家2戸以上を1戸即ち個人ため池にも適用拡大しました。また、ため池の廃止にあたっては、国の採択要件を満たさないものであっても、市単独で工事費の三分の二を補助する制度を創設して、地域防災の向上につなげていきたいと考えています。

### ○建築住宅局（10月4日）

Q. 第二次市営住宅マネジメント計画の中で、今後再編に向けて検討を開始する住宅として位置付けた押部谷、栄等の4つの住宅については、どのように再編を進め、その結果生まれる余剰地の活用をどう進めて行くのか。

A. 住宅としての将来の需要がどの位あるのか、の調査を行うと共に、適正に管理可能な住宅規模への再編を進めていくことを基本に整備を図っていきたくと考えています。また、余剰地の活用については、地域の利便性に供するのか、福祉のために有効に活用するのか、公共的な用に供するのか等様々なご意見がありますが、周辺のまちづくり活性化に資するような跡地利用を検討していきたい。

→ 今後は、周辺の交通環境なりを十分勘案しながら再編等を進めていく必要があると思います。

なお、桜が丘地域福祉センターの余剰地への移転は、所管部局とも調整しながら対応していきたいと考えております。

### ○都市局（10月8日）

Q. 西神中央駅周辺の歩行者動線については、①以前から指摘している西区新庁舎へのアクセスで、商業棟からの連絡通路外でプレンティ広場を通過して道路を渡る際のアーケード設置やバリアフリー対応はその後どうなっているのか②新たに整備される文化・芸術ホールと駅との間の動線である現在の陸橋は老朽化しており、ホールともマッチしたデザインで再整備をはかる必要があること

③美賀多台方面から駅へ向かう地域住民の特に道路横断についての安全・安心を確保すること

A. ①については、関係局とも連携しながら対応策を講じていきたい。②については、陸橋の架け替えは予定しており、今回の公募の中でホールと一体的な整備の提案を求めてきた結果、かなりいい評価のデザインとなっているので、それに基づきながら整備してまいりたい。

③については、歩行者空間の拡大なり、信号待ちの滞留スペースの拡大を図ると共に、自動車の運転席からの交差点の視認性を高める等の安全対策にも万全を期していきたい。

## 総括質疑および要望 いさやま 大介（灘区選出）

神戸市ばい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例について、いさやま大介が質疑しました。

『路上喫煙禁止地区』において、火のついたタバコだけでなくばい捨てに対しても抑止効果を目的に過料をとるべきであると。また、『ばい捨て防止重点区域』も将来的には過料対象エリアとするよう要望しました。



他、東須磨小学校における教員間暴力について意見を申し添えました。

要望事項の一部

- ・コンプライアンスの徹底およびハラスメント対策に努め、市政の健全化を図ること。
- ・ICT等の新しい技術を取り入れ、様々な分野に活用できるよう官民で取り組むこと。
- ・各種スポーツの国際大会の更なる誘致に向けて、体制強化を図るとともに、スポーツ施設の戦略的な更新及び整備に努めること。
- ・都市空間向上計画の策定後は、地元との協議を重視して適切な駅前再整備に努めること。



# いさやま大介

## プロフィール

## 市政を身近に



教員の両親から生まれる。  
 神戸大学発達科学部を卒業。  
 中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)  
 灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。  
 地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。  
 2015年、2019年神戸市会選挙連続当選、現在2期目。  
 都市防災委員会所属。(2019年10月現在)  
 議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。  
 教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

発行元

共創・国民民主神戸市会議員団  
 〒650-8570  
 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階  
 TEL: 078-322-5845  
 FAX: 078-322-6171

# Vol.17

## ぽいすてゼロの街を目指して!

### 神戸市ぽい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例 (歩きたばこ禁止条例) について



2008年に施行した「歩きたばこ禁止条例」で、路上喫煙の禁止地区として違反者から1,000円の過料を徴収している三宮・元町エリアにおいて、昨年の調査では半径10メートル当たりの吸い殻が08年比で94%減った。過料を科すことにより抑止効果があることは明らかである。

まずは、『路上喫煙禁止地区』において、火のついたタバコだけでなく「ぽい捨て行為」に対しても過料をとるべきと質疑。

また、灘駅周辺のような『ぽい捨て防止重点区域』も将来的には過料対象エリアとするよう要望。



▶ 王子公園駅周辺のゴミ (5日間 朝30分間で回収)

【市長】 過料徴収が、そのエリアにおけるぽい捨て防止や路上喫煙率低下に寄与しているという認識をしている。

【副市長】 現在ぽい捨て行為に罰金を設定しているが、手続きが煩雑で実行性が低い。他都市の事例(全国で10都市がぽい捨て行為に過料を設定するも6都市しか実績がない等)を参考にしながら検討したい。



▶ 捨てられたガムが黒く残った三宮駅周辺の道路





## 学 校と家庭間の連絡手段を ICT 化！

## 教育

### 質疑のポイント

- ☑ 現状、家庭から学校への欠席などの連絡手段は、連絡帳や電話である。
- ☑ 学校から保護者へのアンケートを年2~3回実施しているが、学校規模によっては 集計・集約作業に時間を要するといったケースもある。
- ☑ 保護者や教員の負担軽減のため、ICT 導入による効率化を検討できないか。

令和3年1月に稼働予定の次期教育情報基盤サービスにおいて、学校からのお知らせやアンケートをインターネットによりデータで配信し、保護者はスマートフォン等でそれを受信したり、回答を入力したりすることができるシステムの導入を検討している。

また、欠席の連絡については家庭への返信方法など、他都市の動向も注視しながら保護者や教員の負担を軽減できるよう導入について検討していく、とのこと。



## ス ポーツを通じた国際交流を促進！

## スポーツ

### 質疑のポイント

- ☑ 東京オリンピック・パラリンピック 2020 に向けて、いくつかの団体の事前合宿地が神戸市に決定している。
- ☑ 受け入れに当たって、神戸のPRや交流事業等をもっと実施すべきでは。

オリンピック大会ではニュージーランドの競泳チームが、パラリンピックではオーストラリアパラチーム（最大 12 競技程度）が神戸に来る。ネパールのパラ水泳チームも事前合宿を行う。現在、フランス体操チームと協定の締結ができるよう調整中である。

今年の世界水選手権前に NZ の競泳チームが来神した際には、選手による泳法指導などを実施した。また、ブリスベンに子供たちを派遣し、2年連続で交流事業をするなどオーストラリアのパラチームとは既に交流を行っている。神戸に来たときに学校訪問などの交流などをやっていきたい、とのこと。



▶ 交流会で披露された「Haka」



▶ 中学生への泳法指導



# 決算特別委員会にて質疑しました！



## 仕事と子育ての両立支援拠点を拡充！

## 子育て・経済

### 質疑のポイント

- ☑ ことし5月に託児機能付きの「コワーキングスペース 078With-Kids」が新神戸駅と阪急御影駅に開設された。
- ☑ 増加傾向にあるフリーランスに向けて、仕事と子育ての両立拠点を神戸市が積極的にアピールすべきではないか。

子育てをしながら働けるというのは、神戸の子育てのイメージアップにもつながると考えている。

経済観光局等とも連携をし、女性起業家支援のネットワークを活用しながら、いろいろなセミナーの場で広報していきたい、とのこと。



▶ 078With-Kids を訪問

## ごごろ神戸 共感をよぶ広報を！

## 広報

### 質疑のポイント

- ☑ ブロガーの平民金子さんが独自の視点で神戸のさまざまなスポットを紹介するウェブエッセイ「ごごろ神戸2」が人気である。
- ☑ 市の広報戦略として、こういった狙いがあるのか。

市内在住の人気ブロガー平民金子さんに子供を乗せたベビーカーをごごろと押しながら神戸をあちこち歩いて、まちの魅力を深掘りをして、思ったことをウェブエッセイにつづってもらった。毎回 3,000 回ぐらいの閲覧があり、タブロイド版 1,000 部販売もすぐに売り切れるなど反響がある。今年度はフリーライターで神戸に移住してきた岩崎雅美さんに執筆を依頼する。

生活者が感じた多様性のある神戸の魅力を発信する取り組みを引き続き進めていきたい、とのこと



## ○須磨東小学校における教師間暴行について

総括質疑において、神戸市の教育全般に関する信頼を地に落としめる愚行と指摘し、2点要望しました。

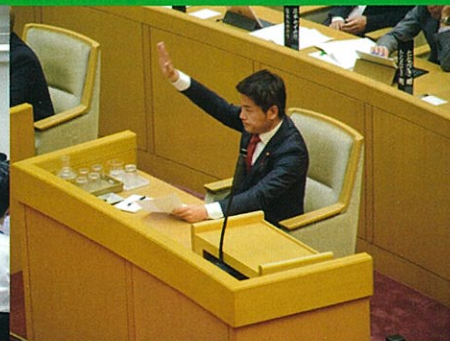
1. 加害者、傍観者など関係者の事情聴取を通じ、なぜこういう事が起きたのかを徹底的に分析し、どこにでも起きうるものとして、今後における教員・職員の厳格なハラスメント対策を行うこと。
2. 一学校の問題のみで片付けるのではなく、神戸市教育全体で受け止める必要がある。全般の解明、加害者教員の処分等しっかりと説明できる段階において、すべての市立小学校において場を設定し詳細な説明を行うこと。



▶ 第2回総合教育会議を傍聴



## 議会風景



▶ 令和元年 10 月 決算特別委員会

▶ 同左 議案質疑

### ■ 平成 30 年度各会計決算について

平成 30 年度各会計決算及び関連議案、合計 25 件を  
要望 10 件を付して認定、承認しました。要望事項の一例

- ・コンプライアンスの徹底およびハラスメント対策に努め、  
市政の健全化を図ること。
- ・各種スポーツの国際大会の更なる誘致に向けて、体制強化を図るとともに、  
スポーツ施設の戦略的な更新及び整備に努めること。
- ・台風を始め大規模災害に起因する停電対策を講じるとともに、  
重度心身障がい児・者の家庭への災害時非常用電源確保に取り組むこと。



### 若者の政治参画を目指して！

8月からの約2か月間、関西学院大学法学部の学生4名を  
議員インターンシップ（活動体験）で受け入れました。

委員会の傍聴を通して、神戸市における政策の勉強をしたり、  
人のつながりを通して神戸市や各区の魅力を再発見するべく、  
灘区だけでなく長田区や須磨区にも足を運び、  
地域まわりや NPO 活動に積極的に参加しました。



灘中央市場の『まちなか防災空地』においては、「能楽」「書道」「編み物」と和のテイストを  
コンセプトにしたイベントを市場の皆さんの協力の下、学生が企画・運営しました。

若者の政治参画へのハードルを少しでも低くできるよう、頑張って参ります！

- ★ 毎月末 市政報告会を開催しています。  
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp



# いさやま大介

## プロフィール

教員の両親から生まれる。  
神戸大学発達科学部を卒業。  
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)  
灘区の松蔭中学と神戸海星中等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。  
地元少年野球部の元コーチ、地域子ども水泳教室の現コーチ。  
2015年、2019年神戸市会選挙連続当選、現在2期目。  
都市防災委員会所属。(2020年3月現在)  
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。  
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



## 市政を身近に



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団  
〒650-8570  
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 26階  
TEL: 078-322-5845  
FAX: 078-322-6171

# Vol.19

## 令和2年度当初予算案に対し、会派を代表して質疑しました

### 生活困窮者に対する学習支援事業およびスタディクーポン導入について

現在、神戸市においては生活困窮者を対象とする保健福祉局の学習支援事業と、学力向上対策としての学校と福祉の連携による学習支援事業が行われているが、その成果をよりきめ細やかに検証し制度の拡充・充実が必要ではないか。



また、この学習支援は用途目的限定なのが強みである一方、選択肢が限定的であること、拠点数の制限があることなどが課題であると言われている。この課題を補完するために、クーポン型給付という方法が利用相談支援との組み合わせにより、千葉市や渋谷区など全国自治体で採用されている。

経済負担の大きいひとり親世帯などに対して、ガバメントクラウドファンディング(課題解決型ふるさと納税)等を利用して、学習塾や習い事の費用を助成する「スタディクーポン」を導入検討をすべきではないか、と質疑。

【市長】本市の学習支援事業は、生活困窮者自立支援法施行前から実施し、順次対象を拡大し現在市内12カ所で実施をしている。(令和元年度12月末で登録者数363人) 今後は個人、グループ、NPO法人など様々な支援の実態を調査して、つなぐ課のテーマとして新たな方策の検討をしていきたい。

【副市長】ふるさと納税を活用した学習支援は、事業規模や交付額が安定しないことが課題。また、学習クーポンはメリットはあるものの、事業者の参画が保障されないこと等のデメリットも考えられる。いわゆる教育の格差、貧困の連鎖に対しては課題意識を持って方策を検討していきたい。





# 市政を身近に 令和2年度 第1回定例議

## A YA (アヤ) 世代、若年世代のがん患者支援を！

### 福祉

【予算代表質疑】

質疑のポイント

- ☑ 全国に約5万8,000人いる15歳から39歳の思春期・若年世代AYA世代と呼ばれるがん患者は、医療の進歩で生存率が向上する中、進学や就職など世代特有の問題を抱えながら、治療を続けている。
- ☑ 患者の精子や卵子などを凍結して保存する、妊よう性費用を補助する県・市協調の制度の狙いと、この世代のがん患者への支援はどうする。

AYA世代のがん患者の場合には、将来、妊娠する可能性を温存するための治療、妊よう性の温存治療というものを選択することが必要になるが、かなりの経済的負担を伴うのが課題である。県・市協調により、この治療費の一部を助成する制度を創設し、将来に向けて前向きに治療に取り組めるよう支援していきたい。



## ふるさと納税の活用を！

### 財政

質疑のポイント

- ☑ 制度が大きく変わったふるさと納税において、クリエイターやデザイナーとの連携による発信や取り組みのねらい。
- ☑ 先進的な政策実現のために、ガバメントクラウドファンディング（課題解決型ふるさと納税）をより活用すべき。

9つの集中PRメニューを庁内で選定し市内のデザイナーやクリエイターと連携をしながら、ウェブサイトを改良し、PRパンフレットを作成した。

また、多様な返礼品を70点ほど追加し返礼品の充実も力を入れている。

ガバメントクラウドファンディング（自治体が抱える課題や解決策を具体的なプロジェクトとして公開をしてふるさと納税で寄附を募る取り組み）では、これまで5つの事業で活用をしている令和2年1月末の寄附総額、件数は約6億3,000万円、9,900件（前年度比較+約2億円、+約1,500件）となっている。共感して応援をしてもらえるような仕組みづくりを一層進めていく。



## H AT 活性化プラン～アートを活かしたまちづくり～

### 地域



▶ 県美の「美かえる」

HAT神戸エリアは、震災から25年を迎え整備が進み、

JICAや人と未来センター等の施設もあり魅力ある地域となった。今年度予算案では、アートを活用して再活性化をはかるとあるが、どうしていくのか質疑。

新たなシンボルアートを海沿いに設置し、県立美術館と連携したアートを生かしたまちの活性化に取り組む。六甲ミーツ・アートのイベントに出品された作品なども移設する。また、円形広場があるなぎさ公園を生かしてにぎわいづくりを考え、水域利用のためのレガッタ用の乗降用の施設の整備も考えている、とのこと。



# 会、予算特別委員会にて質疑しました！

## 教育現場のICT化推進！

### 教育

#### 質疑のポイント

- ☑ 1人1台端末の導入など「GIGAスクール構想」が国において推進される。
- ☑ 神戸市情報教育基盤サービスの（KIF）の再構築のねらいは何か。
- ☑ 学校から家庭への連絡手段にICTを導入する予定であるが、どのような内容を検討しているか。（平成31年度決算特別委員会より継続）

KIF上では、出席管理、成績処理、教職員の出退勤管理等さまざまなシステムが稼働しており、次に3世代目に履行する。追加機能として、自動採点ソフトウェアの導入、学校ホームページを利用した各校独自のアンケート、保護者宛てメール機能、さらには保護者とのコミュニケーションツールとしてのアプリの導入という幅広いことを取り組んでいきたい。また、学級通信など学校からの配布物も添付可能である。



## 社会的養育を推進！

### 子育て

#### 質疑のポイント

- ☑ 国における里親等委託率に対し、神戸市の計画案におけるあるべき里親等委託率はその目標を達成できていないが、どうしていくのか。
- ☑ 社会的養育を担う児童福祉施設と、里親や市内で増えつつあるファミリーホームとの支援協力関係を構築すべきではないか。

神戸市の実情を踏まえ数値目標と達成期限を設定した。また、ファミリーホームの委託の推進を神戸市の計画の中でも掲げており、運営に対する経済的な支援も国に対して要望していく。

## 停電対策を全市で推進！

### 危機管理



近年、地震や風水害の影響により長時間の停電が都市部に起きている。災害時の停電に備え、電気自動車や水素自動車から公共施設に電力を供給する独自の方式いわゆる「神戸モデル」が一部で試行された。また、自動車会社及び酒造メーカーと協定を締結したが、その狙いと今後の展開について質疑。また、長時間の停電により人工呼吸器等が使用できない場合に備えた非常用発電機の購入に係る助成導入についても質疑。

▶ 燃料電池自動車ミライ



## 議会風景



▶ 令和2年2月 予算議会代表質疑

▶ 同左

### 令和2年度各会計予算について

令和2年度各会計決算及び関連議案、合計50件を要望 12 件を付して認定、承認しました。  
(要望事項の一例)

- ・ 摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立をはかること。
- ・ 六甲アイランド高校転落に関する事案の原因に配慮しながらも、今後起こりうるいじめへの対応は被害者に寄り添いながら、加害者への指導を疎かにしないこと。



### ○市会議員の期末手当増額に対し反対しました。(11月議会)

以下、全文を掲載

議員提出第7号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例に対して反対の立場から、2点、意見を申し上げます。

上程理由に、「本市市会議員の期末手当の改定を行うに当たり条例を改正する必要があるため」とありますが、支給月数 0.10 月引き上げの根拠は示されていません。

また、同様の議案提出議員人数が、例えば、平成 26 年の 53 人から今回の 39 人に大きく減少していることを考慮すると、議会の過半数は超えているとはいえ決して大多数とは言えず、安易な期末手当増額は、市民理解が得られないと考えます。また、東須磨小学校における教員間暴行問題を受け、市立学校の校長や教育委員会事務局の幹部職員の期末手当増額を見送りました。

これは、「この問題は調査中であり関係者の処分も終わっていない段階での、期末手当増額は市民の理解を得られない」との理由であります。教育委員会全体だけの問題でしょうか。

一連の問題は、広くは市長および議会としても受け止めるべきであると考えます。

これは、市民から選ばれたものの「宿命」とであると申し上げて、私の反対討論といたします。



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。  
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail : info@isayama-daisuke.jp





## 市政だより

ご健勝にて新春をお迎えのことと拝察いたします。旧年中は温かいご指導、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。

さて、神戸市は“全国でも人口が一番減少している都市”という非常に残念な結果となり、都市としての再生は待ったなしの状況と言えます。早急に各種の対策を進めていかなければなりません。都心三宮駅周辺の再整備、バスターミナルの整備も、まちとしての機能と魅力向上の一環であり、市役所2号館等の建て替えも同様の視点です。

また、地元西区では、西神中央駅周辺の活性化を視野に、区役所新庁舎、文化・芸術ホール、新図書館の建設に着手して参ります。供用は令和3年度末の予定です。一方、この夏の西神そごうの撤退は大きな課題ですが、後継事業者の誘致に全庁あげて取り組んで参ります。

重大な社会問題となった教員の暴力・いじめ問題は世間の常識からかけ離れており、職員の組織風土への改革が今こそ求められています。

兵庫県バス協会からの緊急要望(補償率の向上無ければ撤退)を受けて改定案が示されている“敬老パス”については、社会参加の継続、利用者負担軽減の観点で取り組んで参ります。

令和の時代となって初めて迎えるお正月を、どうぞお元気で過ごして下さい。

令和2年 元旦

神戸市会議員 **前島 浩一**

(共創・国民民主神戸市会議員団 団長)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL:078-322-5845 携 帯:090-9715-7733

FAX:078-322-6171 発行 共創・国民民主神戸市会議員団